

絵の中のミステリー！

2020 年 6 月 27 日(土)～9 月 27 日(日) 休館日：月曜日（7 月 13 日、8 月 10 日・31 日は開館）、8 月 11 日（火）、9 月 8 日（火）～18 日（金）

夏はお化けの季節？ ということで、今回は、ちょっと「不気味」で「あやしい」感じの絵を集めてみました。

抜け殻のような女性の着物がそばに立つ祠（ほこら）を描いた《（お地蔵様と着物）》は、着物の明るい色と背景の青い色（寒色）が対照的です。同じく、きれいな青が印象的な《冬の蜃気楼》は、夢の中に出てきそうな景色です。

古い木をたくさん描いた《山湖》にも、自然の神秘が感じられます。《瀧（二つの次元を繋ぐもの）》は、日本人が古くから神聖視してきた滝を描いています。《廃墟の階段》では、誰もいなくなった場所が描かれています（けれども、誰か隠れているような気配はしないでしょうか）。

《風景》は幻想的な作品です。絵の中に描かれている卵や、懐中時計（らしきもの）を探してみてください（どちらも『アリス』に登場します）。《ズザンキの冒険 1》は東欧の国ポーランドの児童図書の挿絵の原画です。いろいろな生き物が隠れているので探してみてください。

作者名	作品名	制作年	素材／技法	初出展覧会
森川 ユキエ	（お地蔵様と着物）	1983（昭和 58）頃	油彩、カンバス	
佐々木 裕久	冬の蜃気楼	1999（平成 11）	岩絵具、麻紙	第 26 回春季創画展
番場 春雄	山湖	1963（昭和 38）	顔料、紙	再興第 48 回院展
仲山 計介	瀧（二つの次元を繋ぐもの）	1997（平成 9）	岩絵具・顔料・膠・麻・ アクリル樹脂メディウム、紙	
西村 満	廃墟の階段	1999（平成 11）	油彩、カンバス	第 95 回記念光風会展
猪爪 彦一	風景	1982（昭和 57）	油彩、カンバス	
ジョランタ・マルコオラ	ズザンキの冒険 1	1995	鉛筆・水彩、紙	